

ロシア連邦沿海地方ナデジディンスキー地区 (Nezhdinskiy) の湿地

1 自治体名

沿海地方

2 発表者名

オスイペンコ クリステイーナ (Osipenko Kristina)

ナデジディンスキー地区ヴォリノ・ナデジディンスコエ村 (Vol`no-Ndezhdinskoe)

第 31 号総合学校

3 活動名

身近な湿地及び河川での清掃活動

4 活動期間

2011 年 5 月～2014 年 5 月

5 活動場所

沿海地方ナデジディンスキー地区ヴォリノ・ナデジディンスコエ村

6 活動参加人数

25 人

7 活動を始めた経緯

水域が汚染されたから

8 発表要旨

ナデジディンスキー地区は沿海地方の南方に位置している。この地区はウラジオストク市から 18 キロ離れたところで、アムール湾（日本海）に流れ込むラズドリナヤ (Razdol'naya) 川の河口に湿地がある。近年、人間活動がこの地域に及ぼす負荷が増大している。人間による環境負荷の悪影響は森、川、湿地等で見られる。

ラズドリナヤ川の湿地はナデジディンスキー地区に位置している。ロシア連邦のレッドリストに記載されている次の 27 種の鳥類がこの河口の三角洲で生息している。

アマサギ、チュウサギ、ヘラサギ、ナベコウ、コウノトリ、カリガネ、ミカドガン、サカツラガン、コハクチョウ、トモエガモ、オシドリ、ミサゴ、イヌワシ、オジロワシ、オオワシ、クロハゲワシ、シロハヤブサ、サプサン、タンチョウ、マナヅル、イカルチドリ、ミヤコドリ、オオジシギ、ホウロクシギ、コアジサシ、ヤマショウビン、カオジロダルマエナガ。

また、沿海地方のレッドリストには、この河口の三角洲に生息している 43 種の鳥類が記載されている。

私たちが身近なところからできる最初の一步が清掃活動であると考え、学校でエコグループを設立した。エコグループでは、研究活動、自然保護プロジェクトの実施、実験的研究、地域の清掃活動、学校の生徒や住民に対する鳥類、湿地の自然物の保護の必要性についての環境教育・啓発活動等を行っている。実施した行事の成果として、地域の衛生状態の改善や、水域の状態維持に対する住民の意識の変化があった。

研究等の活動の成果は、環境保全について熱心に研究する青少年が、「アースデーからアースセンチュリーまで」、「森林オリンピック」、「人間と生物圏」、「緑の波」、「飼いならしたペットに責任を持たなきゃ!」、「地球を緑の星に!」などの地区や地方が開催する環境会議で発表している。

湿地は鳥類、魚類等の動物の生息地というだけではなく、水質浄化や気候形成に寄与する重要な要素である。自然の再生能力が無限ではないことが明らかになっている。湿地は特殊な生物と植物の生息保護区である。湿地は漁業にとって重要な動物相の生息、繁殖に大きく関連している。私たちの課題は、次世代のために特色のある自然物を保全していくことである。